

みんなで発掘！『残したい・伝えたい・創りたい すみだの風景』プロジェクト2010

〈テーマ〉『すみだの街並みと東京スカイツリー』

東京スカイツリーが東京タワー（333m）を超え日本一の高さとなった今、すみだの街並みは大きく変わりつつあります。そこで、平成22年度の「すみだ景観フォーラム」では、以下のような様々なイベントを行いますので、みなさん参加しましょう。

① 平成22年4月1日～5月31日：写真募集



「みんなで発掘！『残したい・伝えたい・創りたい すみだの風景』プロジェクト」の第1歩として、平成22年度は、すみだの街並みの中にある東京スカイツリーの写真を募集します。

例えば、「住宅密集地の隙間から見える東京スカイツリー」、「古い街並みの上空に見える東京スカイツリー」等、すみだの街並みから顔を覗かせる東京スカイツリーを様々な視点や角度からその街並みとともに撮影した写真を応募しましょう。（詳細は案内チラシをご覧ください。）

すみだ景観フォーラム実行委員会が『入賞作品』の選定を行います。
応募された写真の撮影位置等を示した『マップ』をつくります。

② 平成22年7月、8月：写真展



『入賞作品』とともに、できる限り全ての応募作品を展示します。

〈開催日時・場所〉

- ・7月18日（日）～24日（土）：すみだ生涯学習センター 1階ホール
- ・8月7日（土）～17日（火）：墨田区役所 1階アトリウム
- ・8月23日（月）～31日（火）：曳舟文化センター 1階ロビー

③ 平成22年7月24日（土）：「入賞作品表彰式」「講演会」

表彰式



『入賞作品』を表彰します。

〈開催日時・場所〉

日時：平成22年7月24日（土）午後
場所：すみだ生涯学習センター

講演会



応募された写真等を題材に、講演会を行います。

【講師：前東京農業大学長 進士五十八氏】

④ 平成22年10月頃：街歩き

街歩き

応募された写真等を手紙に、すみだの街並みを散策します。また、新たなすみだの街並みを発掘します。



★すみだ景観フォーラム「サポーター」募集★

すみだ景観フォーラムは、「すみだ景観フォーラム実行委員会」が中心となって、企画・運営を行っており、今年度は、「写真展」や「講演会」、「街歩き」など、様々なイベントを開催します。そこで、各イベントで、実行委員会のお手伝いをしていただける方を募集します。応募された写真の整理やマップづくり、当日の運営などに興味のある方は、事務局までご連絡ください。

※実行委員、サポーターはボランティアです。

すみだ景観フォーラム会報 ～第2号～

発行元（すみだ景観フォーラム事務局）
墨田区都市計画部都市計画課
墨田区吾妻橋1丁目23番20号
電話：03-5608-6266 / FAX：03-5608-6409
メール：toshikeikaku@city.sumida.lg.jp
〈会員数：138名（平成22年3月末現在）〉

『すみだ景観フォーラム』とは ⇒ 区民のみなさんが、すみだの景観について意見交換・共通認識をもつためのきっかけの場です！

『すみだ景観フォーラム』は、どなたでも参加可能です！

～「すみだ景観フォーラム」に未だ登録していない方で、登録希望の方は、事務局までご連絡ください～

平成21年度からは、実行委員会が中心となって企画・運営しています！

すみだ景観フォーラムは、平成20年度に設立され、「講演会（第1回フォーラム。平成20年10月実施）」や「船上見学会（フォーラム特別企画。平成21年3月実施）」などの活動を行ってきました。平成21年度からは、昨年8月にフォーラム会員皆様の中から募集した「すみだ景観フォーラム実行委員」の皆さんが中心となって、フォーラムの開催までの企画・当日の運営を行っています。

＜すみだ景観フォーラム実行委員会は、このような活動をしています！＞

【これまでの実行委員会の活動内容（平成21年度）】

- 『第2回すみだ景観フォーラム』の企画・運営を行いました。

平成21年度の活動内容の検討を行いました。各実行委員から、「すみだの歴史を再発見する」や「すみだに残された風景を探す」、「優良建築を探す」など、様々な提案がなされ、これらの企画提案をもとに話し合いを行った結果、『第2回すみだ景観フォーラム』では、「すみだの歴史を学ぶ」というテーマで講演会を行うことが決まりました。（『第2回すみだ景観フォーラム』の内容は、2・3面を参照ください）

- 平成22年度すみだ景観フォーラムの活動内容の企画を行いました。

『第2回すみだ景観フォーラム』を終え、参加者のアンケート結果などを踏まえ、反省会を行いました。その後、平成22年度のフォーラムの活動内容について、各実行委員が企画を持ち寄り、話し合いを行った結果、平成22年度は「写真展」「講演会」「街歩き」を行うことが決まりました。（平成22年度のフォーラムについては、4面を参照ください）



【メンバー】
12名（平成22年3月末現在）

【発足】
平成21年9月

【活動形態】
毎月1回（夜2時間）程度の会議を開催

★ 実行委員の声 ～平成21年度の活動を振り返って～ ★

まず、「すみだ景観フォーラム」に参加してから、見慣れた「すみだ」の風景を違う視点で見ようになり、今まで当たり前に通っていた街並みや路地の存在に気づくようになりました。そして今回、実行委員になることで、今まで受け身で学んでいた景観について、他の実行委員の方々と積極的な意見交換ができ、とても貴重な経験となっています。東京スカイツリーが徐々に建ちつつある今、将来のすみだの景観がどうあるべきかについて、今まで以上に私たち区民が考えていかなくてはならないと改めて思いました。

（すみだ景観フォーラム実行委員：笠貫）

第2回 すみだ景観フォーラム

開催日時：平成21年11月29日（日）午後2時～3時30分
 会場：すみだ生涯学習センター（ユートリヤ）B棟2階マスターホール
 参加者：65名

歴史に景観を問う「浮世絵から探る“まちなみの今”」

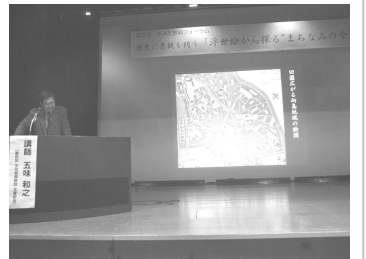
■開催内容 「浮世絵から探る“まちなみの今”」

残すべき景観・守るべき景観・新たに創り出す景観を考えるため、昔に描かれた浮世絵と現在の写真から、すみだの昔と今の風景を比べ、すみだらしい風景を探る講演会

■講師 五味和之（墨田区文化振興財団北斎担当主任学芸員）

■講演内容

古代のすみだから明治期以降のすみだについて、古図や浮世絵を用いて、分かりやすく説明していただきました。また、区内の地名の由来についても、解説していただきました。



<講演内容（概要）>

～古代のすみだ～

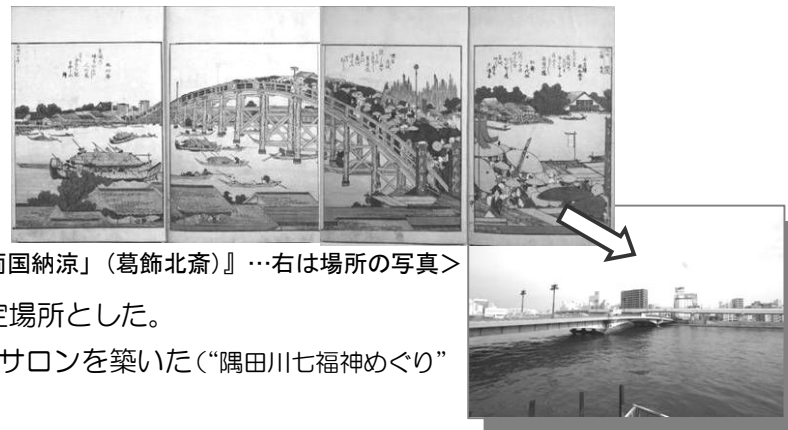
- 古代のすみだは海の中であった。やがて区北部までが陸地化し、海岸線に島が点在しはじめた。その頃の様子を地名に残っている。【隆起した土地…⇒「押上」。柳が生えていた島…⇒「柳島」】

～中世武士の時代のすみだ～

- 明暦3年（1657）に発生した明暦の大火（振袖火事）が転機となり、江戸の都市改造が行われた。
- 万治3年（1660）碁盤目状の道路整備がはじまる。

～江戸時代後期のすみだ～

- 文化文政時代（1802-15）は江戸文化の完成期。拠点は本所・深川。当時、最もにぎわったのは両国橋界隈であった。



<『隅田川兩岸一覽「両国納涼」(葛飾北斎)』…右は場所の写真>

- 江戸中を廻っていた相撲が、回向院を定場所とした。
- 佐原鞠塙が向島に暮らし、百花園に文化サロンを築いた（「隅田川七福神めぐり」のはじまり）。

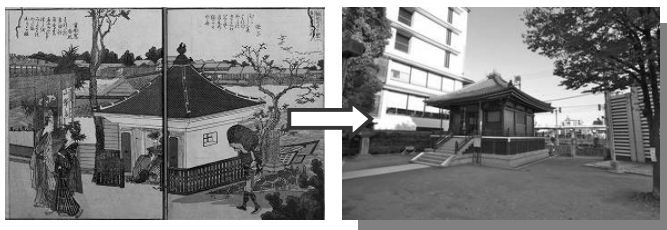
～幕末期のすみだ～

- 本所・向島には、至る所に著名人が暮らしていた。
- 【両国…⇒勝海舟父子。緑…⇒ジョン万次郎。石原には新撰組から分離した新徴組の屋敷もあった】

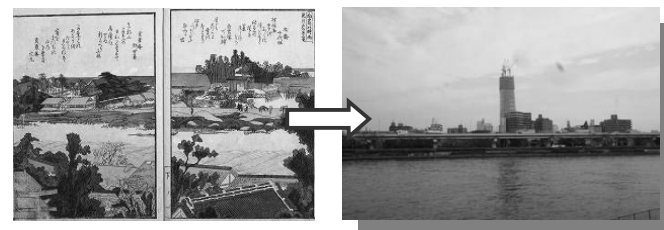
～明治期以降のすみだ～

- 近代産業の成立。首都だったため、あらゆる業種があった。
- 「①地価が安い」「②場所が広く取れる」「③河川に近い」「④都心からあまり離れていない」「⑤近くに労働力がある」ことが、すみだの利点であった。

<隅田川兩岸一覽「駒形夕日榮」(葛飾北斎)…右は現在の写真>



<隅田川兩岸一覽「向島の時雨」(葛飾北斎)…右は現在の写真>



図版協力：墨田区文化振興財団

<第2回すみだ景観フォーラム アンケート結果>

●今後のフォーラムについて

	(人)	(%)
すみだ景観散策ツアー	39	88.6%
すみだの景観資源マップづくり	32	72.7%
すみだ風景写真展	34	77.3%
講演会	35	79.5%
推奨景観モデル検討会	10	22.7%
視察・勉強会	15	34.1%
座談会	12	27.3%
その他	2	4.5%
	44	100.0%

「景観散策ツアー」や「景観資源マップづくり」「写真展」「講演会」に関するご意見が多くあげられています。⇒2010年度は、「写真展」や「講演会」、「街歩き」を行う予定です（詳しくは4面を参照ください）。

●「すみだ景観フォーラム」や「すみだの景観」についてご意見・要望（抜粋）

- 景観保全の動きや取り組み、都市計画制度等について学習する機会があれば参加したいです。
- 東京スカイツリーが出来る事によって失われる景観もあると思います。スカイツリーがジャマな存在にならない事をねがいます。
- 江戸時代の様に電線のないすっきりとした景観にしたいです。

◎ 実行委員の声！ ◎

今回、実行委員会の記者として、数回の打ち合わせやすみだ郷土文化資料館の見学会などにも参加しながら今回のフォーラムに参加させて頂きました。第一回のフォーラム（平成20年10月実施）の内容が、「水辺」再生への期待」というテーマで、東京スカイツリー建設に伴う、開発中心のものでしたので、今回は、企画主体が区の都市計画課から実行委員会に移行したこともあり、広く区民が景観について考える場としたいという趣旨から、「歴史」がメインテーマに決まりました。本企画のリーダーの笠貫さんから最初に出たテーマは「すみだ区の歴史 人と人の触合い 癒しの時間と空間」で、講演会のテーマとしては難しいと言われている「下町らしさ」に焦点を当てようということでした。

今回の資料で『隅田川兩岸一覽』より「向島の時雨」（葛飾北斎）の絵と本企画サブリーダーの岡本さんが撮影したタワーの写る現在の風景の対比の構図などは、昔のすみだの景観と現在のすみだの景観がまったく違ったものになってきているという事実を如実に写すものとなっていたと思います。また、浮世絵に現れている風景と現在の風景写真で撮影し、対比して報告するという試みにはアカデミックな雰囲気すら感じられる報告内容となっていたように思います。

今回、企画主体を区民に移行しフォーラムを行うという試み、また、この町が市民に非常に親しまれて来た事が非常に良く分かり、これからの墨田の景観に対して、区民が問題意識を持ってゆっきっかけ作りという当初のフォーラムの目的は十二分に達成された内容だったように思います。

次回への課題としては、もう少し参加者が増えるような企画作りが大事なように思います。
 （すみだ景観フォーラム実行委員：安藤）

